

(国語科)

進んで表現しようとする子どもを育てる
― 言語活動の充実を図る国語科の指導を工夫 ―

大阪市立井高野小学校 室井 柚紀
長谷川恭子
川島 拓也
佐藤 正明

1. 研究主題設定にあたって

本校では、「自ら考え、正しく判断し、心豊かでたくましく活動する子どもを育てる」の教育目標のもと、①しっかり学べる学校、②豊かなかかわりのある学校、③家庭や地域と共に歩む学校を学校経営方針として掲げて、教育活動に取り組んでいる。

平成26年度は、「自分の考えや思いを進んで表現できる子どもを育てる～読み取る力の育成を通して～」を研究主題とし、「話すこと・聞くこと」「書くこと」及び「読むこと」の各領域の言語活動を行うと共に、特に、読み取る力の育成を通して、授業実践を中心に取り組んできた。今年度は、昨年度身につけた力を踏まえ、言語活動の充実を図る国語科の指導を工夫することで、より進んで表現しようとする子どもを育てることができると考えた。

そこで、今年度も国語科を研究教科とし、研究主題を「進んで表現しようとする子どもを育てる ―言語活動の充実を図る国語科の指導を工夫―」と設定した。

国語科学習における基礎・基本の力を育成すると共に、自ら進んで課題解決に取り組む子どもを育てると設定した。ために、課題解決の学び方を身につけておく必要があると考え、学習過程を、

I次 出会い・見通す <課題をつかむ>

II次 広げ・深める <課題解決のための読み>

III次 生かす <学んだことを生かした表現活動>

に設定し、問題意識をもったり、単元全体の見通しをもったりできるようにした。

2. 研究の内容

(1) 研究の視点

授業づくりの視点として、言語活動の充実を位置づけた。子どもたちが主体的に表現していく場となる言語活動は、自分を表現するための有効な手段となる。表現する機会が多くなる言語活動の場を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を習得する機会も多くなる。習得だけにとどまらず、それを活用していくためにも、「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動に意識的に取り組むことが必要であると考え、言語活動の充実を図る授業づくりをテーマに研究を進めていくことにした。

(2) 実践例

○ 1年「サラダでげんき」

言語活動は、「誰がどんなことをしたかを考えて場面ごとに読み、人物に伝えたいことを手紙に書こう」とし、つきたい力は、誰がどんなことをしたかを考えて、場面ごとに読むことができたとした。

○ 3年「はたらく犬について調べよう」

言語活動は、「働く犬について読んで調べたことを、リーフレットにまとめて紹介しよう」で、つけたい力は、大事な言葉や文を見つけながら文章を読み、書かれていることを要約することができるとした。

○ 5年「動物の体と気候」

言語活動は、「動物ふしぎ発見ガイドブックを作ろう」で、つけたい力は、文章構成を考え、要旨をまとめて文章に書くことができるとした。

3. 研究の成果と今後の課題

(1) 研究の成果

○ 学習の見通しをもつ

単元学習のはじめに、言語活動としてのめあてを示すことにより、取り組む課題を明確にした。そのため、何が必要か、何を身につけなければならないかをはっきりさせることができた。

場面ごとにまとめたり、具体的に数値を示してまとめたり、必要な情報を集め要約したりすることができた。また、序論・本論・結論等、文章全体の構成を考え、読み手を意識した書き方を工夫して、ガイドブックを作ることができた。

○ 読む力をつける

斉読やグループ読み、丸(句点)読みなど、いろいろな読み方を毎時間行った。興味を持続させながら、通読を繰り返すことにより、長い文を声に出して読むことに慣れ、かなりスムーズに読めるようになった。

文全体を繰り返し通読することにより、文の序論・本論・結論の構成を理解し、それぞれの段落で、大事な言葉に気づくことが多くなった。

○ 表現活動

大事な言葉を見つけ、線を引いたりメモを取ったりした。キーワードを見つけることを通じて、自分の考えを書いたり、発表したりする契機とした。

ペアやグループ、隣接する友だちとの話し合いで、時には、立ったまま話し合うなど、いろいろな形態をとることにより、自由に意見交流をした。メモを見ながら意見を言ったり、友だちの意見を参考にしたりすることにより、自分の考えを深め、自信をもって発表できるようになった。また、理由や根拠を示すことができるようになった。

(2) 今後の課題

○ さらに言語活動の充実を図る研究を継続する。

○ 図書館の整備や掲示を含め、言語活動の充実のための環境や資料を充実する。

○ 自分の言葉で発表できるよう、小集団での話し合い活動の場の工夫をする。

○ 表現活動を、他教科や学校生活全般において、発揮できる場を設ける。